



◀山から家づくりまでのツアー（スギ林の産地見学）



◀親子で木に触れる
学習会

■高島の木の家づくり相談窓口

今津町今津175

（今津ウォーリス資料館内）

☎・FAX（20） 1179

▼相談時間 水～日曜日
10時～17時

タッグを組み、豊富な知識と経験、
確かな技術で地元素材を充分に活
かしたぬくもりあふれる住まいづ
くりをお手伝いします。
高島の木、高島の技術でつくら
れる「高島の木の家」には、多く
のメリットがありますので、詳し
くは、相談窓口へお気軽にお問い
合わせください。



● **高島森林体験学校**
森林を活用するための技術や山
村の暮らしの中で伝えられてきた
知恵や文化を次世代に継承してい
くため、地元の地域指導者による
技術や知恵・文化を題材とした体
験プログラムを、市内外の方に提
供しています。
内容は、間伐や植栽などの森の
整備、山の恵みの利用法など、目
的に応じた活用方法を提案してい
ます。
体験プログラムを通じて、森林
や山村文化の価値の再発見や山村
地域への来訪者を増加させると
もに、林業への就業や山村への定
住のきっかけとし、山村地域の活
性化につなげていきます。

森の多面的機能を活かす — 森を支える人づくり

森林の木を活かす — 地域材でまちづくり

● 地域材活用住まい手等 事業補助金

市では、地元木材の流通や地域
産業の活性化を図ることを目的
に、市内産木材を使用した家づく
りに対して最大60万円の補助を
行っています。

また、滋賀県が行う「木の香る
淡海の家推進事業」（びわこ材を
使用した住宅建築への助成制度）
の要件に該当すれば、市の補助と
合わせて最大100万円の補助を
受けることができます。

家づくりをお考えの方は、高島
市内産木材を使用するこの制度
を、有効に活用してください。



● 朽木東小・中学校体育館 への木材調達

平成23年2月の完成に向け、朽
木東小学校・朽木中学校の共用体
育館の建設が進められています。

平成19年度から、学校・林業関
係者等による施設整備検討委員会
において住民参画による新しい体
育館の検討が始まりました。「小・
中共用の体育館」「子どもたちが
快適に過ごせる朽木らしい体育
館」というコンセプトで、地域に
根ざした建物になればという想い
から、朽木中学校林と市有林のス
ギを主要構造材や内装材に活かし
た体育館づくりが進められてきま
した。

体育館のシンボルとなる大屋根
は、朽木荒川の学校林と市有林か
ら伐採されたスギを使った「持ち
送り重ね梁」方式と呼ばれる木造
アーチ梁が見事に組み上がってい
ます。

また、建設に用いたスギ材は、
安定した品質を維持するために、
伐採後、葉枯し乾燥を行い一次製
材後、1年以上の長期にわたる自
然乾燥を経て冬期の積雪荷重に耐
えられる強度と乾燥基準に適合し
た品質のスギ材を使用していま
す。半世紀以上という長きにわた

《補助金の概要》

新築や増改築をされる場合に、
市内で建設業を営んでいる大工さ
んや工務店などの施工により、高
島市内産木材（スギ、ヒノキ、ア
テ）の製材品を3㎡以上使用して
木工事をする場合が対象です。

▼補助金の額

市内産木材の製材品1㎡あたり
20,000円

★1事業につき最大60万円。

★実績 平成21年度 8棟

平成22年度 10棟（申込受付

詳しくは、お問合せいただくか
市ホームページをご覧ください。

● 高島の木の家づくり

市内産木材を充分に活用した家
づくりをおとして、木材生産者か
ら施工者までのつながりを復活さ
せ、地域材の安定供給や循環を図
り、住まい手、つくり手、森林環
境のいずれにも望ましい家づくり
を推進しています。

「高島の木の家づくりネット
ワーク」は、森林所有者から木材
生産者、製材業者、設計事務所、
工務店、建具店など、森づくりか
ら家づくりに携わる多彩な分野の
第一線で活躍するつくり手たちが

森林づくりへの取り組み概要

●健全な人工林を育て森林機能高める 取り組み

造林事業への補助・作業路整備への補助
など

●多面的機能を守り、未来につなぐ森づくり

里山リニューアル事業、長寿の森奨励事業
など

21年度 林業振興
関係事業決算額 **2億4千万円**

●森の多面的機能を活かす取り組み

高島森林体験学校委託業務、森林セラピー
森林環境学習「やまのこ」委託業務 など

●地域材を街づくりに活かす取り組み

地域材活用住まい手等事業補助金
木の家づくりコーディネイト委託業務 など

●林業の基盤整備

林道の維持補修 など

建設中の
朽木東小・朽木中学校体育館▶
（木造アーチ梁）

